

日医工医療行政情報

<https://stu-ge.nichiiko.co.jp/>

新型コロナウイルス感染症に係る臨時的な取扱い 「6歳未満への対応評価等」

作成：日医工株式会社（公社）日本医業経営コンサルタント協会認定 登録番号第6345号 寺坂裕美
日医工株式会社（公社）日本医業経営コンサルタント協会認定 登録番号第4828号 長岡俊広

参考資料

令和2年12月14日 中医協総会資料「総-1新型コロナウイルス感染症に伴う医療保険制度の対応について」

令和2年12月15日 事務連絡「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて(その31)」

凡例

通知等

MPSコメント

資料No.20201217-1105

本資料は、2020年12月15日迄の情報に基づき、日医工（株）MPSグループが編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。

新型コロナウイルス感染症を踏まえた診療に係る特例的な対応 (※)

- 新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、小児に対する診療の実態や、新型コロナウイルス感染症から回復した後の継続的な治療の必要性の観点から、感染が急速に拡大している間、期中における臨時異例の措置として、以下の対応をすることとしてはどうか。

12月14日の中医協総会で承認され、
12月15日付で事務連絡が発出された

1. 外来における小児診療等に係る評価

- 感染予防策の実施について、成人等と比較して、
 - ・ 親や医療従事者と濃厚接触しやすいため（抱っこ、おむつ交換など）、感染経路が非常に多く、感染予防策の徹底が重要であること
 - ・ 訴えの聴取等が困難であり、全ての診療等において、新型コロナウイルス感染症を念頭においた対策が必要であること

などから、より配慮が求められる **6歳未満の乳幼児への外来診療等**に対する評価が必要

→ 小児特有の感染予防策（※）を講じた上で外来診療等を実施した場合、初再診に関わらず患者毎に

- 医科においては、**100点**
- 歯科においては、**55点**
- 調剤についても、**12点**

に相当する点数を、特例的に算定できることとする。

※ 「小児の外来診療におけるコロナウイルス感染症2019（COVID-19）診療指針」を参考に感染予防策を講じた上で、保護者に説明し、同意を得ること。

2. 新型コロナウイルス感染症からの回復患者の転院支援

- 新型コロナウイルス感染症の回復後においても、感染対策を実施するための体制整備が必要
- 新型コロナウイルス感染症から回復した後、引き続き入院管理が必要な患者を受け入れた医療機関において、必要な感染予防策を講じた上で入院診療を行った場合の評価を3倍に引き上げる。
- ※ これまでの臨時特例 二類感染症患者入院診療加算（1倍）250点 → 今回の見直し 二類感染症患者入院診療加算（3倍）750点

15

（引用）令和2年12月14日中医協総会資料「総-1新型コロナウイルス感染症に伴う医療保険制度の対応について」

1. 小児の外来における対応について

- 保険医療機関（保険薬局）において、**6歳未満の乳幼児**に対して、小児の外来診療等において特に必要な感染予防策を講じた上で診療（必要な薬学的管理及び指導）を行う
- 患者又はその家族等に対して、院内感染防止等に留意した対応を行っている旨を十分に説明し、同意を得る

医科 (外来)	「初診料」、「再診料」、「外来診療料」、「小児科外来診療料」、「小児かかりつけ診療料」 + 現行の要件を満たせば算定できる加算 +100点を加算	初診料の乳幼児加算(75点) + 再診料の地域包括診療加算1(25点)に相当する点数
歯科	「初診料」、「再診料」 + 現行の要件を満たせば算定できる加算 +55点を加算	初診料の乳幼児加算(40点) + 再診料の乳幼児加算(10点) + 再診料の再診時歯科外来診療環境体制加算2(5点)に相当する点数
調剤	「薬剤服用歴管理指導料」、「かかりつけ薬剤師指導料」 + 現行の要件を満たせば算定できる加算 +12点を加算	薬剤服用歴管理指導料の乳幼児服薬指導加算(12点)に相当する点数

2. 転院を受け入れた保険医療機関に係る評価について

- 新型コロナウイルス感染症から回復した後、引き続き入院管理が必要な患者を受け入れる
- 必要な感染予防策を講じた上で実施
- 算定に当たっては、患者又はその家族等に対して、その趣旨等について、十分に説明する

回復患者の転院受け入れに対する特例報酬の増額
年齢に関わらず該当する患者全てが対象

1日につき算定

医科 (入院)	入院料 +750点を算定	二類感染症患者入院診療加算(250点)の100分の300(=3倍)に相当する点数
2020年5月26日付事務連絡の3及び問6 (二類感染症患者入院診療加算(250点)に相当する点数を算定可とする規定)は廃止		

(参考) 令和2年12月15日事務連絡「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて(その31)」

本資料は、2020年12月9日迄の情報に基づき、日医工（株）MPSグループが編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。

小児の外来診療における対応等について（事務連絡Q&A）

問 1 1 について、小児の外来診療等において「特に必要な感染予防策」とは、どのようなものか。

（答）「小児の外来診療における新型コロナウイルス感染症2019（COVID-19）診療指針・第1版（小児COVID-19 合同学会ワーキンググループ）」を参考に、小児の外来における院内感染防止等に留意した対応を行うこと。

診療指針は各学会サイトに掲載されている

（院内感染防止等に留意した対応の例）

- COVID-19 に特徴的な症状はなく、小児では出現しても訴えとして現れることが期待できないことから、**一人の患者ごとに手指消毒を実施**すること。
- 流行状況を踏まえ、**家庭内・保育所内等に感染徴候のある人がいたか、いなかったのかを確実に把握**すること。
- 環境消毒については、手指の高頻度接触面と言われる**ドアノブ・手すり・椅子・スイッチ・タッチパネル・マウス・キーボードなどは定期的に70～95%アルコールか0.05%次亜塩素酸ナトリウムを用いて清拭消毒し、特に小児が触れる可能性が高い場所は重点的に行う**こと。

小児の外来診療における対応等について（事務連絡Q&A）

問 2 1について、小児の外来診療において特に必要な感染予防策を講じて診療等を行う保険医療機関等において、6歳未満の乳幼児に対して、「新型コロナウイルスの感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いについて」（令和2年4月10日厚生労働省医政局医事課、医薬・生活衛生局総務課事務連絡）及び「歯科診療における新型コロナウイルスの感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いについて」（令和2年4月24日厚生労働省医政局歯科保健課、医薬・生活衛生局総務課事務連絡）に基づき、電話や情報通信機器を用いた診療又は服薬指導を実施した場合、どのような取扱いとなるか。

（答） 1については、小児の外来における診療等については、特に手厚い感染症対策を要することを勘案し、小児の外来診療等において特に必要な感染予防策を講じた上で実施された診療等を評価するものであるため、**電話や情報通信機器を用いた診療又は服薬指導を実施した場合は、算定できない。**

電話やオンラインでの指導を行った場合は、加算の算定不可

問 3 2について、「新型コロナウイルス感染症から回復した」とあるが、転院先医療機関においては、例えば、再発等がなく、傷病名として「新型コロナウイルス感染症」として記載されない場合であっても、二類感染症患者入院診療加算の100分の300に相当する点数（750点）は算定できるか。

（答） 算定できる。なお、その場合、新型コロナウイルス感染症から回復した患者である旨、診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

問 4 新型コロナウイルス感染症に伴う安静（治療の有無を問わない）による廃用症候群であって、一定以上の基本動作能力等の低下を来している患者について、廃用症候群リハビリテーション料を算定できるか。

（答） 要件を満たせば算定できる。

事務連絡令和2年12月15日 厚生労働省保険局医療課「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて(その31)」

今般の新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、小児の外来診療においては、特に手厚い感染症対策が必要であること等を踏まえ、臨時的な診療報酬の取扱いについて次のとおり取りまとめたので、その取扱いに遺漏のないよう、貴管下の保険医療機関及び保険薬局に対し周知徹底を図られたい。

なお、本事務連絡による臨時的な取扱いは、当面、令和2年度中（令和3年2月診療分）までの措置とし、令和3年度（令和3年3月診療分以降）の取扱いについては、令和3年度予算編成過程において検討することとしている点に留意すること。

記

1. 小児の外来診療における対応等について

新型コロナウイルスの感染が拡大している間、小児の外来における診療等については、特に手厚い感染症対策を要することを勘案し、小児の外来診療等において特に必要な感染予防策を講じた上で診療等を実施した場合、以下の取扱いとする。

なお、その診療等に当たっては、患者又はその家族等に対して、院内感染防止等に留意した対応を行っている旨を十分に説明し、同意を得ること。

- (1) 保険医療機関において、6歳未満の乳幼児に対して、小児の外来診療等において特に必要な感染予防策を講じた上で診療を行い、医科点数表の「A000 初診料」、「A001 再診料」、「A002 外来診療料」、「B001-2 小児科外来診療料」又は「B001-2-11 小児かかりつけ診療料」を算定する場合、現行の要件を満たせば算定できる加算に加えて、「A000 初診料」注6に規定する「乳幼児加算」に相当する点数及び「A001 再診料」注12に規定する「地域包括診療加算1」に相当する点数を合算した点数（100点）をさらに算定できることとする。
- (2) 保険医療機関において、6歳未満の乳幼児に対して、小児の外来診療等において特に必要な感染予防策を講じた上で診療を行い、歯科点数表の「A000 初診料」又は「A002 再診料」を算定する場合、現行の要件を満たせば算定できる加算に加えて、「A000 初診料」注5に規定する「乳幼児加算」に相当する点数、「A002 再診料」注3に規定する「乳幼児加算」に相当する点数及び「A002 再診料」注8に規定する「再診時歯科外来診療環境体制加算2」に相当する点数を合算した点数（55点）をさらに算定できることとする。
- (3) 保険薬局において、6歳未満の乳幼児に係る調剤に際し、小児の外来診療等において特に必要な感染予防策を講じた上で、必要な薬学的管理及び指導を行い、「薬剤服用歴管理指導料」又は「かかりつけ薬剤師指導料」を算定する場合、現行の要件を満たせば算定できる加算に加えて、「薬剤服用歴管理指導料」注8に規定する「乳幼児服薬指導加算」に相当する点数（12点）をさらに算定できることとする。

2. 転院を受け入れた保険医療機関に係る評価について

新型コロナウイルス感染症から回復した後、引き続き入院管理が必要な患者を受け入れた保険医療機関において、必要な感染予防策を講じた上で実施される入院診療を評価する観点から、当該患者について、いずれの入院料を算定する場合であっても、二類感染症患者入院診療加算の100分の300に相当する点数（750点）を算定できることとする。なお、算定に当たっては、患者又はその家族等に対して、その趣旨等について、十分に説明すること。また、「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その19）」（令和2年5月26日厚生労働省保険局医療課事務連絡）の3及び問6は、本日付け廃止する。

3. その他の診療報酬の取扱いについて

別添のとおりとする。



P4-P5に全文掲載